

## 「やる気スコア」について

先日当院で定期購読している理学療法の雑誌に「やる気スコア」の小文が載っていました。初めて聞く言葉なので調べてみました。詳細はこのホームページをご覧ください

[http://strokedatabank.ncvc.go.jp/f12kQnRl/wp-content/uploads/yaruki\\_score.pdf](http://strokedatabank.ncvc.go.jp/f12kQnRl/wp-content/uploads/yaruki_score.pdf)。

似たようなものに「うつ度スコア」又はうつ病スコア

[http://www.chiba.med.or.jp/personnel/nursing/download/text2012\\_4.pdf](http://www.chiba.med.or.jp/personnel/nursing/download/text2012_4.pdf)

があります。やる気スコア（無気力スコア）やうつ度スコアは認知症やうつ病や脳卒中の部分症状のスコアではありますが少しづつ違います。またその他にもスコアは様々にあります。

私達が日常使っている認知症スコアの HDS-R や MMSE、日常生活自立度や障害度もそうです。

このように様々なスコア（スケール、レイティング、評価指標など表現は様々ですが）があります。ご存じのように当館でもクリニカルパスに FIM スコアと HCS スコアが最近導入されました。

このようにスコア化することは大変良いことです。

現代はエビデンスの世の中と言われます。他人に理解して頂く最良で簡単な方法はエビデンスを示すことですが、このスコア化はエビデンスの元になります。100万回の説明よりも1回のエビデンス提示の方が説得力はあります。

私達の業務はチームプレイですので個人プレイでは成り立ちませんし社会にも認めてもらえません。そこでスコア化です。

皆さんが日常の業務の中で“この方法の方が良いような気がする”と思ったらスコア化する方法は無いかとも考えて下さい。

これは言い方を変えると業務に常に探求心を持つということでもありお仕事を前向きにとらえると言うことでも在ります。

業務は一にスコア、二にスコア、三四がなくて五にスコア、何でもスコア、スコア、スコア化、で行きましょう。

### 老人保健施設一羊館の理念

利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

### 一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。

私たちは、利用者の QOL・職員の QOL・健全経営の3立を目指します。

私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。

